

第1号議案 令和3年度事業執行状況報告に関する件

令和3年度事業執行状況報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

令和3年度の事業については、事業計画に基づいて、職業能力開発推進事業と職業能力検定等の実施及び若年技能者の人材育成支援等を行い、労働者の職業能力開発向上を図るとともに、技能尊重の気運の高揚に努めた。特に、山梨県立中小企業人材開発センターの運営は、自主講座の開設、教育訓練への研修室貸出を重点的に展開し、概ね順調に進展している。

1. 総会及び役員会

(1) 第43回通常総会の開催

令和3年5月20日(木)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、会員数339のところで委任状提出者を含めた267名で次の案件を審議し、原案どおり可決又は承認された。

1) 令和2年度事業執行状況報告に関する件

2) 令和2年度収支補正予算及び決算に関する件

令和2年度一般会計収支決算

令和2年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支決算

令和2年度退職手当積立金特別会計収支決算

令和2年度認定職業訓練特別会計収支決算

令和2年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支決算

令和2年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支決算

令和2年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支決算

令和2年度財政調整積立金特別会計収支決算

監査報告

余剰金の処分について(案)

3) 令和3年度事業計画(案)に関する件

4) 令和3年度収支予算(案)に関する件

令和3年度一般会計収支予算(案)

令和3年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支予算(案)

令和3年度退職手当積立金特別会計収支予算(案)

令和3年度認定職業訓練特別会計収支予算(案)

令和3年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支予算(案)

令和3年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支予算(案)

令和3年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支予算(案)

令和3年度財政調整積立金特別会計収支予算(案)

5) 役員の変更に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第1回理事会を、令和3年4月20日(火)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数34のところで委任状提出者を含め31名により、第43回通常総会に提出する議案を審議し、原案どおり承認された。

2) 第2回理事会を令和4年1月13日(木)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数34のところで委任状提出者を含め34名により、令和3年度事業執行状況、収支補正予算、令和4年度事業計画(案)、収支予算(案)及び新規加入会員について審議し、原案どおり承認可決された。

(3) 常任理事会の開催

第1回常任理事会を、令和3年10月21日(木)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、第42回山梨県職業能力開発関係表彰式における会長表彰の被表彰者の選考を行った。

(4) 監事会の開催

令和3年4月13日(火)午後2時から、当協会において令和2年度事業執行状況及び令和2年度収支決算について、監事により監査が行われた。
その結果、事業執行及び会計事務等は正確かつ適正に処理されていることが確認され、その状況が第43回通常総会において報告された。

2. 会員の加入状況

会員の3月末現在の状況は、次のとおりである。

会員の区分	会員数	前年度 末数	比較 増減	増減内訳	
				入会	退会
特別会員	8	8	0	0	0
正会員	328	331	-3	1	4
認定職業訓練会員	19	19	0	0	0
団体会員	51	50	1	1	0
企業会員	258	262	-4	0	4
合計	336	339	-3	1	4

3. 職業能力開発推進事業の実施状況

(1) 職業訓練指導員講習(48時間講習)の実施

職業訓練指導員養成のための48時間講習を1回(6/21~23、28~30)実施して、11名が修了した。

(2) 企業内教育訓練に講師派遣

企業内における従業員の教育訓練について、次のとおり事業所等の要請に応じて、管理監督者訓練等に講師を派遣した。

コース名	コース	受講人員		コース	受講人員
仕事の教え方	1	5	中堅社員	2	14
人の扱い方	2	15	新入社員訓練	6	163
パソコン講座	1	7	接遇	1	9

13 コース 213人

(3) 普通職業訓練の実施

職業訓練の認定を受けて、次のとおり一般社員・管理監督者、パソコン技法、資格取得等の講習会を実施した。

一般社員講座	6コース	受講者	137人
管理監督者講座	2		9人
パソコン講座	1		7人
資格取得講座	1		6人
計	10		159人

(4) 関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議への参加

神奈川県が担当となり、職業能力検定・職業能力開発を推進する際の諸問題等について、下記により研究討議を行った。

◇第63回関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議

月 日 令和3年9月21日

場 所 各都県(ZoomによるWEB会議)

出席者 37名

(5) 令和3年度職業能力開発関係表彰式

11月の人材開発促進月間に厚生労働大臣及び中央職業能力開発協会会長表彰が行われ、県内関係者では、次の方々が表彰の栄誉を受けられた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止となった。

(厚生労働大臣表彰)

- ・ 卓越した技能者 佐野弘和 氏、田中松男 氏
- ・ 技能検定関係事業所 (有)ノグチ・オート・ボディー・サービス
- ・ 技能検定関係功労者 田中勇夫 氏

(中央職業能力開発協会会長表彰)

- ・ 技能検定事業関係事業所 (有)加々美組
- ・ 技能検定事業関係技能検定委員 遠藤昌仁 氏
- ・ 技能振興事業関係功労者 小倉太 氏、山本光石 氏

(6) 職業能力開発経験交流プラザの開催

令和4年2月15日(火)「働きがいのある組織の作り方」をメインテーマに、職業能力開発経験交流プラザを開催した。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Zoomを使用したオンライン形式での実施となり、45人の参加をいただく中で、ジット株式会社の石坂幸太郎氏により「山梨から世界に向けた組織作り」と題した企業事例講演を実施した。

(7) 教育研修用教材の提供

教育研修用ビデオテープ/DVD(所有数223巻)の無料貸出しは、安全活動研修用の利用が多く、全体の半数以上を占めている。

3月末現在の貸出し状況は、次のとおりである。

18社 113巻

(8) ものづくり講座の開催

地域住民へのサービスを目的に、生活に生かせる技能を習得するための「松のミドリ摘み教室」「松の手入れ教室」「ふすまのはりかえ教室」や、親子を対象とした「木製コーナーラックづくり」「クリスマスリースづくり」を実施した。

講座には県内各地より60名が参加し、講師の指導の下で熱心に実技に取り組んだ。

4. 職業能力検定事業の実施状況

(1) 技能検定の実施

県が公示した令和3年度技能検定実施計画に基づいて、受検申請を受け付けた。

その結果、年間で199職種263作業に及んだ。

総合の受検状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	2年度	比較増減
前期	受検者	—	230	10	315	432	306	1,293	431	862
	合格者	—	98	4	155	317	180	754	301	453
	合格率	—	42.6	40.0	49.2	73.4	58.8	58.3	69.8	-11.5
後期	受検者	30	116	1	195	343	415	1100	1,333	-233
	合格者	13	50	1	70	224	184	542	704	-162
	合格率	43.3	43.1	100.0	35.9	65.3	44.3	49.3	52.8	-3.5
計	受検者	30	346	11	510	775	721	2,393	1,764	629
	合格者	13	148	5	225	541	364	1,296	1,005	291
	合格率	43.3	42.8	45.5	44.1	69.8	50.5	54.2	57.0	-2.8

(2) 学科試験の実施状況

学科試験は全国統一実施日として、前期は7月11日、8月22日、8月29日、9月5日
後期は令和4年1月23日、30日、2月6日に実施した。
その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	2年度	比較増減
前期	受検者	—	179	9	251	386	212	1,037	309	728
	合格者	—	123	9	191	312	182	817	291	526
	合格率	—	68.7	100.0	76.1	80.8	85.8	78.8	94.2	-15.4
後期	受検者	29	67	1	142	320	246	805	1,040	-235
	合格者	14	51	1	82	263	185	596	819	-223
	合格率	48.3	76.1	100.0	57.7	82.2	75.2	74.0	78.8	-4.8
計	受検者	29	246	10	393	706	458	1,842	1,349	493
	合格者	14	174	10	273	575	367	1,413	1,110	303
	合格率	48.3	70.7	100.0	69.5	81.4	80.1	76.7	82.3	-5.6

(3) 実技試験の実施状況

実技試験は、前期は6月初旬から9月上旬までの間に実施し、後期は12月中旬から
2月中旬にかけて実施した。
その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	2年度	比較増減
前期	受検者	—	202	10	279	382	303	1,176	419	757
	合格者	—	96	4	155	313	261	829	385	444
	合格率	—	47.5	40.0	55.6	81.9	86.1	70.5	91.9	-21.4
後期	受検者	20	108	1	185	322	412	1,048	1,210	-162
	合格者	11	48	1	67	240	340	707	855	-148
	合格率	55.0	44.4	100.0	36.2	74.5	82.5	67.5	70.7	-3.2
計	受検者	20	310	11	464	704	715	2,224	1,629	595
	合格者	11	144	5	222	553	601	1,536	1,240	296
	合格率	55.0	46.5	45.5	47.8	78.6	84.1	69.1	76.1	-7.0

(4) 技能五輪山梨県大会の実施状況

技能五輪は、職業訓練の振興と青年技能者の国際交流と親睦を図ることを目的とし
て開催されている。

山梨県大会は全国大会に派遣する選手を選抜する予選として実施され、技能検定
実技試験と併せて行い、一定水準の成績を収めた者には技能証が交付される。

その実施状況は、次のとおりである。

区分	予選参加者数	技能証該当者	技能証交付数
前期	91	4	4
後期	5	0	—

(5) 実技試験水準調整会議の実施

技能検定実技試験の円滑な運営実施を図るための水準調整会議は、技能検定委
員の委嘱とともに、実施計画の日程調整を兼ねて、前・後期の受検申請者確定後に
採点基準や事前準備等についての打ち合わせ会を開催した。

(6) コンピュータサービス技能評価試験の実施

コンピュータを活用したサービスを行う人の能力を評価し、技能習得意欲を増進させるとともに社会一般の評価を高め、この業務に従事する人々の社会的・経済的地位の向上を図ることを目的として、全国的に実施しているものである。

試験方法は、実際に機器を操作して問題进行处理する実技試験を行い、昭和61年度から認定施設制度を設けて実施している。

本年度は、認定施設(14施設)で5月から令和4年3月にわたり、試験を実施した。その実施状況は次のとおりである。

区分	ワープロ部門			表計算部門		
	受験者 人	合格者 人	合格率 %	受験者 人	合格者 人	合格率 %
1級	0	0	0.0	0	0	0.0
2級	44	38	86.4	41	38	92.7
3級	44	42	95.5	68	64	94.1
計	88	80	90.9	109	102	93.6

受験者総数
197人

(7) ビジネス・キャリア検定試験の実施

ビジネス・キャリア検定試験は、厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠し、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験であり、全国的に実施しているものである。

試験は筆記試験で行われ、前期は令和3年10月3日に実施して、後期は令和4年2月20日に実施した。

試験の実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

試験分野	前期			後期		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
人事・人材開発・労務管理	5	2	40.0	4	2	50.0
経理・財務管理	1	0	0.0	3	1	33.3
営業・マーケティング	6	2	33.3	6	3	50.0
生産管理	28	21	75.0	14	8	57.1
企業法務・総務	2	2	100.0	2	2	100.0
ロジスティクス	3	3	100.0	3	3	100.0
経営情報システム	1	1	100.0	4	1	25.0
経営戦略	3	0	0.0	2	2	100.0
合計	49	31	63.3	38	22	57.9

受験者総数 87人
年間合格率 60.9%

5. 山梨県立中小企業人材開発センター運営管理事業

平成2年3月、山梨地域職業訓練センター(県称:山梨県中小企業人材開発センター)は事業主等が雇用する労働者に対し、また、各種団体等が地域住民に対し、多様な教育訓練を行う場として、さらには、技能検定試験の拠点となるよう雇用促進事業団が設置して、山梨県を通じて当協会が施設の運営管理を受託した。

平成23年度には当施設が山梨県に譲渡され、山梨県立中小企業人材開発センターと名称し、その運営管理を当協会が指定管理者として受諾した。

その後も、指定管理者制度のもと平成24年度から運営管理に努め、現在は令和3年から4年間の委託期間の中で、施設利用の拡充と利便に努めている。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により、研修室の定員数を制限して運営を行った。

3月末での利用状況は、次のとおりである。

(人)		利用率		
区 分	利用延人員	最高	7月	53.49%
研修会・講習会	14,457	最低	3月	20.67%
技能検定	6,201	年 間		38.73%
その他	3,846	利用日数		313/340日
合 計	24,504			

※ 利用率＝利用室数／利用可能室数
(11室×利用可能日)

※ 利用日数＝開館利用日数
分母は、利用可能日数
365日－(祝日＋年末年始＋消毒日＋利用不可日)

6. 若年技能者人材育成支援等事業

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度の技能を有する技能者の育成等が課題となっており、昨年度に引き続き、厚生労働省の委託事業として、山梨県内において事業展開をしている。県内で取り組んでいる事業は、次のとおりである。

- (1) ものづくりマイスター等を活用した事業
- ア. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 36 件
 - イ. ものづくりマイスター、ITマスターの認定者数 3 人(累計 144 人)
 - ウ. 実技指導の実施(延べ受講者数)
 - (企業・業界団体:9社、工業高校等:9校) 2,068 人
 - エ. 小中学校での「ものづくり講座・体験教室」の実施
 - (印章:31校、フラワー:7校、大工:1校、造園2校) 1,583 人
- (2) 地域における技能振興事業
- ア. 熟練技能者による実技指導(延べ受講者数) 282 人
 - イ. 技能五輪全国大会への参加選手等への援助 1 職種、4人
 - ウ. 若年者ものづくり競技大会への参加選手等への援助 2 職種、2人
- (3) 連携会議の開催 2 回

7. 第41回山梨県技能まつりの開催

第41回山梨県技能まつりは、11月の人材開発促進月間行事の一環として、県民の日の記念行事に協賛して行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

8. 山梨県職業能力開発関係表彰式

人材開発促進月間の行事の一つとして、11月30日(火)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて、技能者表彰、職業訓練関係功績者等の知事表彰、山梨県職業能力開発協会長表彰、山技連会長表彰の各種表彰が行われた。

9. 第16回若年者ものづくり競技大会への選手派遣

第16回若年者ものづくり競技大会は、令和3年8月4日から8月5日までの間、愛媛県松山市「愛媛国際貿易センター」他3会場で、全国から20歳以下の者330名が、15職種に参加して競技が実施された。

本県からは、木材加工職種とウェブデザイン職種に各1名が参加したところ、木材加工職種の今牧竜叶選手(県立甲府工業高校)が銅賞を受賞した。

10. 第59回技能五輪全国大会への選手派遣

第59回技能五輪全国大会は、令和3年12月17日から12月20日までの間、東京都江東区「東京ビッグサイト」を中心として、全国から青年技能者1028名が、42職種に参加して競技が実施された。

本県からは、旋盤職種2名、貴金属装身具職種4名の計6名が参加したところ、貴金属装身具職種の陶山玖門選手(県立宝石美術専門学校)が銅賞を受賞した。

11. その他

令和3年9月に会報「山梨の能力開発」No.85を、また令和4年3月にNo.86を、発行及び配布した。